

令和2年度（2020年度）

要 覧

自ら学び続ける子どもを育てために、
明日のやる気につながる研修・研究・
学校等支援事業を通して、
教職員の実践的指導力や専門性の向上
を図り、「未来を拓く心豊かでたくま
しい人づくり」を目指します。





「今こそ『学びに向かう力（学ぶ力）』が試されるとき」
所長 猪田 章嗣

琵琶湖とその奥に広がる山々の景色を眺めながら琵琶湖の周囲を駅から駅へと歩く「ビワイチ・ウォーキング」に参加し、なんとか3周を完歩することができました。毎回他府県からも多くの方が参加されますが、琵琶湖が織りなす豊かな自然や四季折々の美しい風景、歴史情緒が残る町並み等を楽しみながら巡るので、数あるウォーキング・イベントの中でもこの「ビワイチ」は格別のようなようです。私も改めて滋賀の魅力を体感すべく、次は5周完歩を目指してチャレンジを続けようと思っています。

さて、今年度からいよいよ小学校で新しい学習指導要領が全面実施となります。来年度には中学校で、再来年度からは高等学校での実施が始まります。そこには、「子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成すること」、「子どもたちの知識の理解の質の向上を図り、これからの時代に求められる資質・能力を育てていくこと」などが示されています。

今の子どもたちは、この先学校を卒業したあと、「Society 5.0」の社会を生きていくこととなります。「4.0の情報社会」とは違う、サイバー空間と現実空間を高度に融合させた社会。そんな「Society 5.0」を生きていくには、どのような力が必要なのでしょう。今ある仕事の半数近くは、将来AIに取って代わられると言われて、間違いなく社会は変わるでしょう。それに伴い、社会を担う人を育てる教育も変わり、必然的に学び方も変える必要があります。これからは、AIが得意とする認知能力よりも、どちらかというとAIには苦手といわれる非認知能力が求められるのではないのでしょうか。従って、「学力」だけでなく、「学びに向かう力（学ぶ力）、人間性等」

がますます大切になってきます。

昨年度末から今年度にかけて新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界中が未だかつてないような危機にさらされています。教育界においてもその影響は甚大で、3月2日から始まった学校の臨時休業が4月からも継続され、子どもたちは長時間家庭で過ごすことを強いられています。中には時間を持て余している子どもたちがいるかもしれません。今まさに、社会全体に「学びに向かう力（学ぶ力）」が試されているのではないのでしょうか。この「要覧」が皆さんのお手元に届く頃には、このコロナ騒動がなんとか収束していることを切に願うばかりです。

総合教育センターでは、県下のあらゆる校種の先生方が、教職員としての力量を高めるために研修を積んでいます。また、県教委のブレインとして、教育の広範囲にわたる分野での先進的・先導的な研究にも取り組んでいます。これからの社会では何が必要なのか、新しい学習指導要領が何を求めているのかをしっかりと掴むと同時に、教育の不易の部分も忘れてはなりません。アクティブ・ラーニングやICT活用も大切ですが、あくまで手段であって目的ではありません。子どもたちにどのような力を付けたいのか、そのためにはどうすればよいのか。授業の中でどうやって考えさせるのか、いかに深い学びへと導くのか。これまでの教育実践を引き継ぎ、「考えさせる授業」を意識しながら、時代の求めに応じて教職員も学び続ける必要があります。今年度も総合教育センターは、未来を担う滋賀の子どもたちのために、先生方の教育力向上をしっかりと支援してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

歴代所長

滋賀県教育研究所

初代	西村栄次郎	昭28. 4~
2代	溝口 成蔵	昭31. 1~
3代	大谷 勇	昭31. 4~
4代	野崎欣一郎	昭31. 10~
5代	細谷雄次郎	昭32. 4~
6代	梅原與惣次	昭33. 4~
7代	仁志出 基	昭35. 4~
8代	岩崎 武	昭39. 4~
9代	小島市太郎	昭40. 4~
10代	中井 重雄	昭42. 4~
11代	珠久 鶴一	昭44. 4~
12代	国松佐三郎	昭45. 4~

滋賀県総合教育センター

初代	仁志出 基	昭46. 4~	15代	三田 俊雄	平13. 4~
2代	藤村 清一	昭51. 4~	16代	國弘 正義	平14. 4~
3代	西村 忠	昭54. 4~	17代	橋本源之助	平15. 4~
4代	松山 義夫	昭55. 9~	18代	中川 法夫	平17. 4~
5代	吉村 博雄	昭56. 4~	19代	馬場 輝代	平18. 4~
6代	古川 康男	昭58. 4~	20代	奥村敬一郎	平20. 4~
7代	三浦 昭	昭61. 4~	21代	中野 正堂	平21. 4~
8代	大塚 陽一	昭63. 4~	22代	北村 清之	平22. 4~
9代	野村 弘	平 3. 4~	23代	松村 良樹	平24. 4~
10代	北川 一幸	平 5. 4~	24代	小林 庄司	平26. 4~
11代	山本 富夫	平 7. 4~	25代	山仲 幸	平27. 4~
12代	文室 温晴	平 8. 4~	26代	佐敷恵威子	平28. 4~
13代	岩本 光恵	平10. 4~	27代	小倉 啓嗣	平30. 4~
14代	田附 紀夫	平12. 4~	28代	猪田 章嗣	令 2. 4~



基 本 理 念

取組の重点

子どもたちの「生きる力」を育むために、とりわけ今学校に求められていることは、子どもの学ぶ力を高め、確かな学力を身に付けるための授業づくりです。また、新学習指導要領への移行や「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業等、これからの学校教育を担う教職員の資質向上を一層図ることも求められています。滋賀県総合教育センターでは、喫緊の教育課題や学校現場のニーズに応じた研修事業や学校等支援事業を展開し、教職員の実践的指導力や専門性の向上を支援します。また、先進的・先導的な研究事業を推進し、研究成果の普及に努めます。

行 動 目 標

- (1) 教職員の資質・能力向上のための、喫緊の教育課題・現場のニーズを反映した「**研修事業**」
- (2) 子どもの学びの質を高めるための「**研究事業**」
- (3) 学校園のニーズに応じるための質の高い「**学校等支援事業**」
- (4) 個に応じた対応や適切な支援のための「**相談事業**」



理 念 図

子ども一人ひとりの個性を大切にし、生きる力を育む

子どもの力を引き出し「夢と生きる力」を育むための教職員の指導力の向上

■ 授業改善・資質向上

- 新学習指導要領への対応
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業力の向上
- 合理的配慮や授業のユニバーサルデザイン化
- 望ましい集団づくり
- 教職員のファシリテーション力等の向上

自律的に学び続ける
教職員を支援

■ 学校改善・働き方改革

- 学校組織マネジメントによる業務改善
- カリキュラム・マネジメントの推進
- 校内研修の充実
- OJTによる同僚性の醸成
- 地域学校協働活動の推進

教育相談

個に応じた対応と適切な支援のための教育相談

研究

子どもの学びの質を高める研究

研修

キャリアステージやニーズを反映した研修

学校等支援

ニーズに応じた質の高い学校等支援

滋賀県教員のキャリアステージにおける人材育成指標

【管理職】

- 学校教育の原動力
- 学校経営の推進力
- 関係機関との連携力

【教諭】

- 授業力
- 生徒指導力
- 学級経営力
- 組織対応力

【養護教諭】

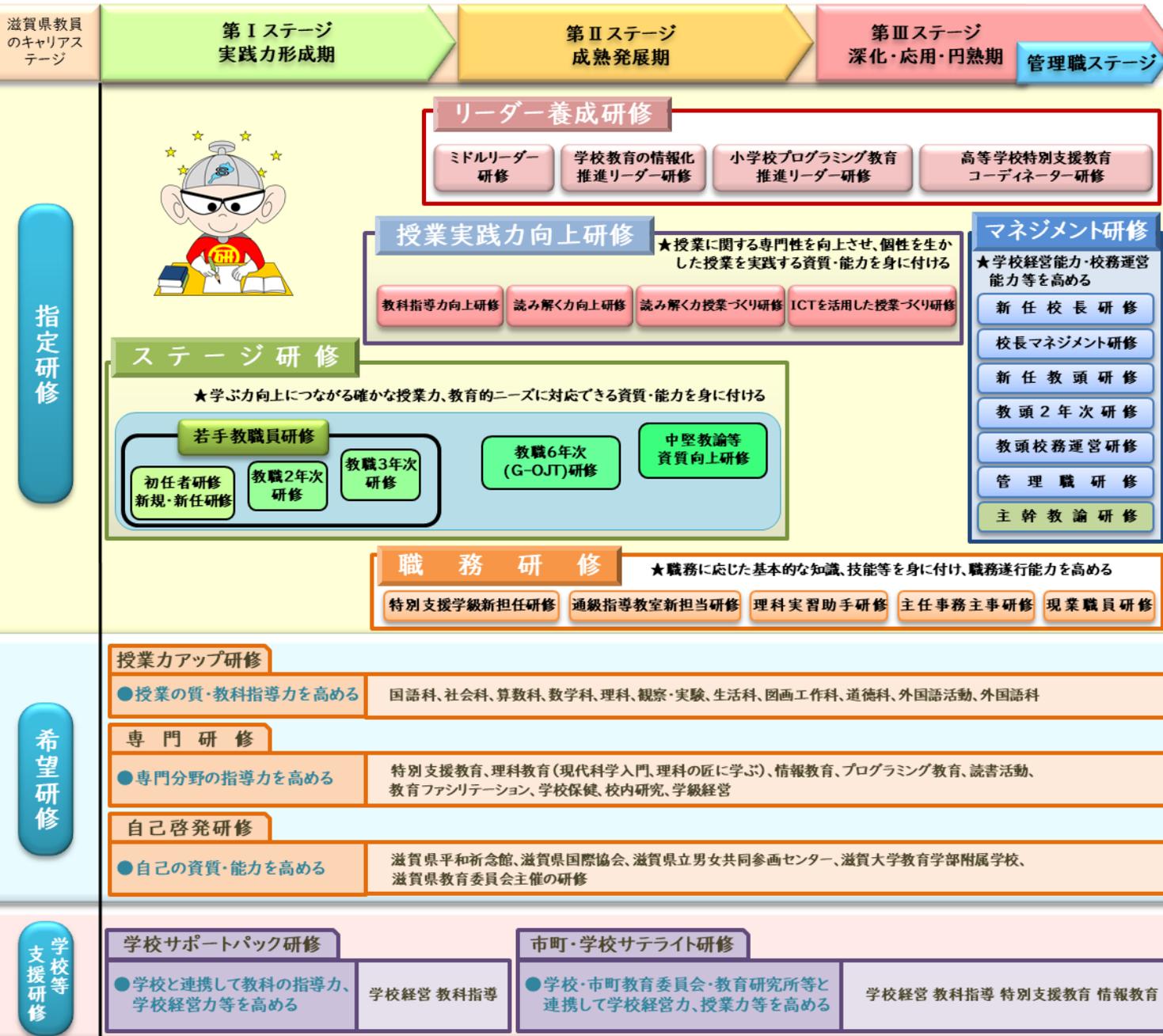
【栄養教諭】

- 専門領域における指導力
- 生徒指導力
- 組織対応力

研修事業

教職員の資質・能力向上のための、喫緊の教育課題
現場のニーズを反映した「研修事業」

令和2年度(2020年度) 滋賀県総合教育センター 研修体系図 - 自律的に学び続ける教職員を支援 -



指定研修

協議や演習を活用し、系統性のある研修を行います。

希望研修

個々のニーズに応じて、専門性を高めます。

学校等支援研修

学校や市町教育委員会等と連携して、研修を行います。

子どもの学ぶ力の向上のために、自律的に学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。研修では、実践的指導力や個々のキャリアに応じた資質・能力の向上を目指します。

主 要 事 業

研究事業

子どもの学びの質を高めるための「研究事業」



国の動向、県の課題を見据えた「研究」事業を推進することで、先進的・先導的研究を直接学校現場へ普及し、学校改善を支援します。

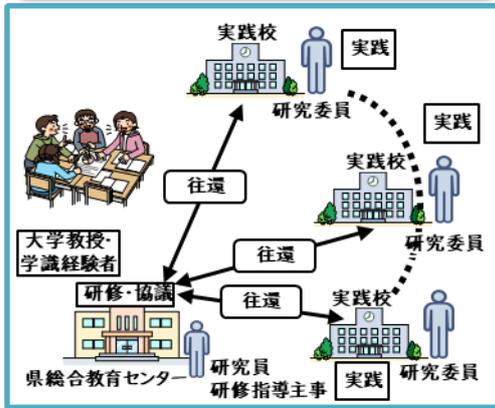


学校に寄り添う研究

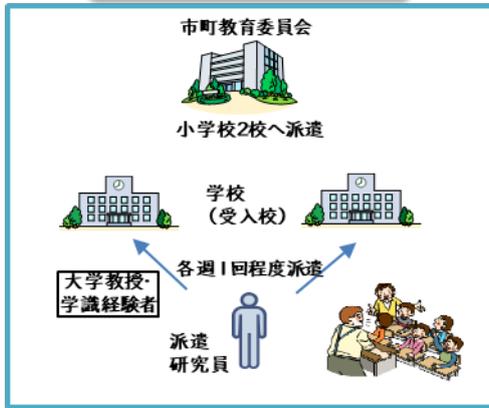
～実践的な指導力の向上につながる指定校研究や喫緊の教育課題に応じた研究で、学校改善を支援する～

- ・プロジェクト研究：研修と実践の往還による実践力の向上を目指す指導改善研究を実施する
- ・小学校派遣研究：研究員が毎週1日受入校で勤務し、学校の課題に応じた学校改善研究を実施する
- ・課題研究：喫緊の課題に対応した先進的・先導的な教科・領域研究を実施する

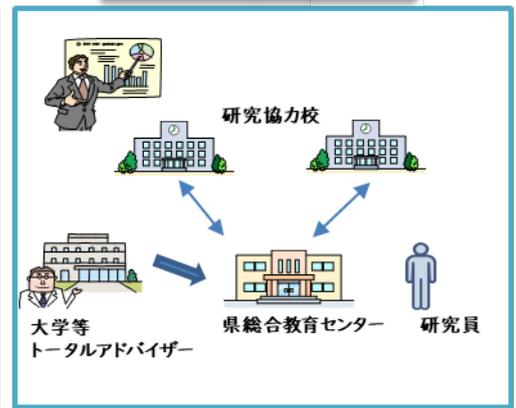
プロジェクト研究



小学校派遣研究



課題研究



令和2年度 プロジェクト研究

小・中学校	読み解く力	「読み解く力」の育成に重点をおいた、すべての児童生徒が学びを実感できる授業づくり -「分析・整理」のプロセスを重視して-
	道徳科	児童生徒が自ら成長を実感し、さらに意欲的に取り組もうとする小・中学校道徳科の授業づくり -学習状況や道徳性に係る成長の様子の評価とフィードバックの充実-
	情報教育	小・中学校における児童生徒の情報活用能力を育成する授業づくりのあり方 -児童生徒がICTを適切に活用する学習活動の充実を図る校内研修を通して-
特別支援学校	特別支援教育	特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けた取組 -ICT活用による児童生徒の思いや願いを叶える実践「WISH-PROJECT」を通して-

令和2年度 小学校派遣研究

小学校	国語科	自ら学びをつなげることができる児童の姿を目指す小学校国語科の授業づくり -「書くこと」と[知識及び技能]の指導事項を相互に関連させた指導の工夫-
	算数科	数学的に考える資質・能力を育成する小学校算数科の授業づくり -図形領域における思考と表現のサイクルによる深い学びの実現-



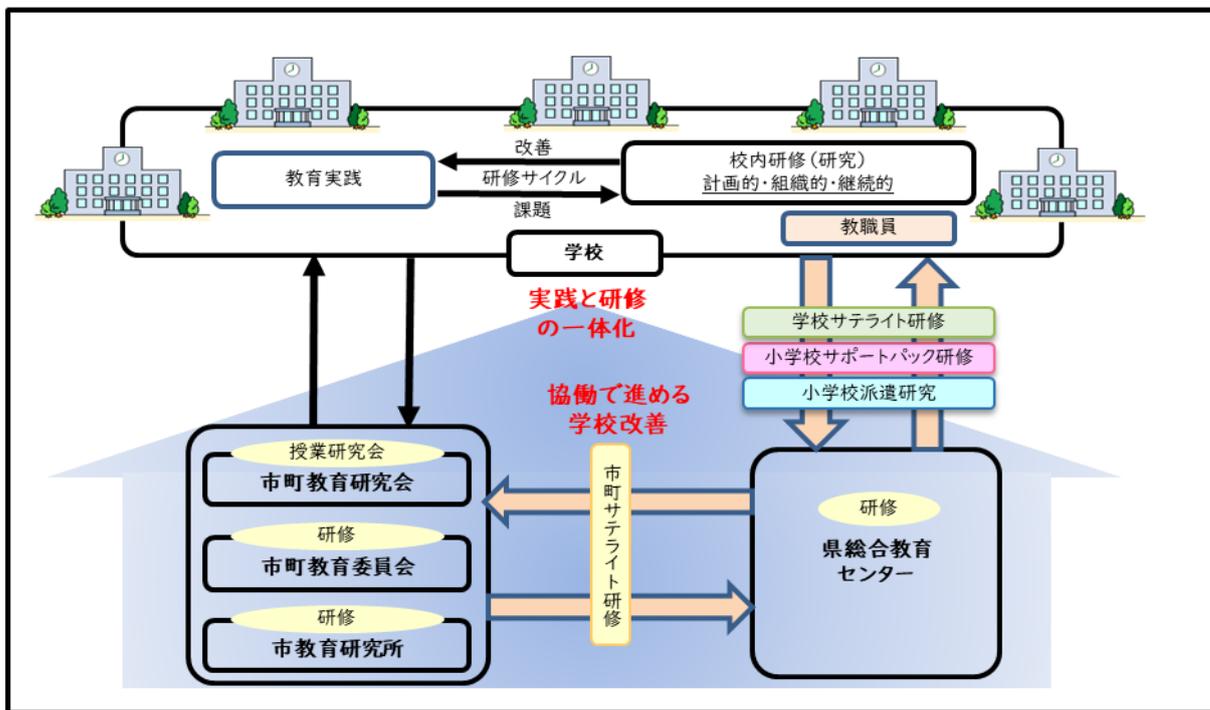
令和2年度 課題研究

小学校	理科	問題を科学的に解決することに児童が主体的に取り組み、問題解決の力を養う小学校理科の授業づくり -全ての児童が目指す姿を意識して取り組むことを通して-
	外国語科	小学校外国語科におけるコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成 -妥当性と信頼性を高めたパフォーマンス評価を生かした指導を通して-
高等学校	理科	科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指した高等学校理科の授業改善Ⅲ -「考察・推論」に重点を置いた探究の過程を踏まえた学習の実践とルーブリックを活用した学習評価を通して-
	数学科	数学的に考える資質・能力の育成を目指した高等学校数学科の授業づくり -数学的活動にパフォーマンス課題を取り入れた言語活動を充実させる指導と評価の方法-

学校等支援事業

学校園のニーズに応じるための質の高い「学校等支援事業」

学校、市町教育委員会・教育研究所が行う授業研究会および教職員研修において、県総合教育センターが研修を支援し、実践と研修の一体化を図ることによって児童生徒の学ぶ力の確実な定着につなげます。



学校サテライト研修
学校のニーズに応じて、校内研究等を支援します。



市町サテライト研修
市町教育委員会等が主催する研修を支援します。



小学校サポートパック研修
指定校に継続的に訪問し、一貫した学校支援を進めます。



小学校派遣研究
センター研究員が、受入校に出向き、学校の課題に応じた改善研究を行います。



教育学習情報の発信

当センターホームページでは、日々の教育活動に役立つさまざまな情報を発信しています。

[滋賀県総合教育センター](#)

<教育学習情報例>

- 研究論文・研究成果物
- 学びの基礎チャレンジ
- ガッテン!!プリント
- 子どもの「学びの場」



相談事業

個に応じた対応や適切な支援のための「相談事業」

特別支援教育相談



校園・家庭での困りごとや悩みを持つ幼児・児童・生徒に関する相談を、専門の相談員がお受けします。一人ひとりに合った対応や配慮等の具体的な支援についてアドバイスします。

【連絡先】Tel 077-588-2505

(教育相談専用電話)

【対象】本人(幼児・児童・生徒)・保護者・教職員等

【方法】来所相談、電話相談

【相談日】月～金(祝日、年末年始等を除く)

【相談時間】9:00～12:30

13:00～16:30



検査器具等の貸出しも行っています。

- ・WISC-IV知能検査
- ・WAIS成人知能検査
- ・K-ABC II
- ・新版K式発達検査200I
- ・WPPSI知能診断検査
- ・DN-CAS認知評価システム
- ・WAVES(ビジョンアセスメント)
- ・多層指導モデルMIM「読みのアセスメント・指導」パッケージ
- ・マルチメディアデイズー図書など

昭和

- 28. 3 滋賀県教育研究所設置規定制定
- 28. 4 滋賀県教育研究所設置(大津市東浦 県庁南別館滋賀県教委事務局内)
- 31. 4 近畿地区教育研究所連盟に加入
- 32. 4 滋賀県学校以外の教育機関の設置に関する条例制定
- 32. 4 全国教育研究所連盟に加入
- 33. 9 滋賀県教育研究所基本規則制定
- 36. 11 都道府県五大市教育研究所長協議会結成加入
滋賀会館に移転
- 38. 3 県庁南別館に移転
- 39. 6 大津県事務局内に移転
- 39. 3 滋賀県教育研究所の設置に関する条例制定
- 40. 4 滋賀県教育研究所基本規則改正
- 41. 1 県庁新別館に移転
- 41. 4 教育特別研修生制度制定、研究員として滋賀大(教)専攻科に1年間派遣
- 42. 3 滋賀県教育研究所基本規則改正(次長制、研究調査、教科研究係設置)
- 45. 10 第1期工事(情報処理棟)着工(野洲町大字北桜)
- 46. 3 滋賀県教育研究所廃止
滋賀県総合教育センター設置および管理に関する条例制定
滋賀県総合教育センターの管理運営に関する規則制定
第1期工事竣工(情報処理棟)
- 46. 4 滋賀県総合教育センター設置
- 46. 7 第2期工事(本館研修棟)着工
- 46. 10 中型電子計算機システム、数値制御工作機械および関連機器設置
- 47. 3 第2期工事(本館研修棟)竣工 教育工学機器設置
- 47. 5 滋賀県総合教育センター竣工開所式
- 48. 2 フーコー振り子設置
- 48. 7 プラネタリウム設置
- 49. 3 天体望遠鏡設置
- 50. 10 第54回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(化学部会)開催
- 51. 3 昭和50年度全国産業教育センター所長協議会情報処理教育部会開催
- 54. 9 第83回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(初等理科部会)開催
- 54. 12 教育工学機器更新
- 55. 1 中型電子計算機システム更新(FACOM M-160S)
- 56. 1 総合気象観測装置等の設置、理科関係備品充実

- 56. 6 全国教育研究所連盟学校経営協議会開催
 - 57. 10 自動製図機設置
 - 58. 5 中型電子計算機システム更新(FACOM M-160F)
 - 58. 10 昭和58年度都道府県指定都市教育研究所長協議会総会並びに研究発表大会開催
 - 58. 10 第117回全国理科教育センター研究協議会総会
 - 61. 6 全国産業教育センター所長協議会開催
 - 61. 10 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(生物部会)開催
 - 63. 6 全国教育研究所連盟事務効率化研究協議会開催
 - 63. 7 新館建築工事および本館改修工事着工
- 平成
- 元. 5 新館および本館竣工式
 - 2. 10 全国理科教育センター研究協議会・研究発表会開催
 - 3. 3 創立20周年記念誌発行
 - 7. 7 全国情報処理教育センター指導者協議会第29回滋賀大会開催
 - 8. 3 教育用ソフトウェアライブラリーセンター設置
 - 8. 6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会開催
 - 9. 12 自動気象観測装置、静止衛星「ひまわり」画像受信装置、走査型電子顕微鏡設置
 - 10. 10 平成10年度全国教育研究所連盟「学校不応答・教育相談、環境教育、情報教育」等研究協議会開催
 - 11. 3 教育情報衛星通信ネットワーク(エル・ネット)の設置
 - 12. 4 総合教育センター設立30周年記念所報発行
 - 13. 11 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表大会(物理部会)開催
 - 15. 7 都道府県指定都市教育センター所長協議会総会・研究協議会開催
 - 16. 8 出前研究発表会(安曇川・長浜)実施
 - 17. 5 カリキュラムサポート開始
 - 18. 5 総合教育センター運営協議会設置
 - 21. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会初等理科部会開催
 - 23. 11 第35回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会(滋賀大会)開催
 - 25. 4 学校支援事業として学力向上支援派遣開始
 - 27. 4 学校支援事業として学ぶ力向上支援派遣開始
小学校派遣研究開始
 - 28. 4 プロジェクト研究開始
 - 29. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会物理部会開催
 - 29. 11 近畿地区教育研究(修)所連盟発表会開催
 - 30. 4 サテライト研修開始
 - 31. 4 サポートパック研修開始

令和2.11 全国教育研究所連盟研究協議会(滋賀大会)開催

案内図

Access Map



〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
 TEL 077-588-2311(代表)
 077-588-2312(資質向上係)
 077-588-2313(学ぶ力向上係)
 077-588-2511(科学教育係)
 077-588-2512(特別支援教育係)
 077-588-2513(情報教育係)
 FAX 077-586-0011
 URL <http://www.shiga-ec.ed.jp/>
 E-mail ma30@pref.shiga.lg.jp

◇JR「野洲駅」から5.4km
 タクシー JR「野洲駅」から10分
 バス JR「野洲駅」から15分
 近江鉄道バス
 「花緑公園行き(希望ヶ丘西ゲート経由)」
 または
 「村田製作所行き(希望ヶ丘西ゲート経由)」
 ・総合教育センター前下車 南へ200m
 ・希望ヶ丘西ゲート下車 南へ370m